

予算決算委員会

12月10日の本会議にて議案第67号、議案第68号及び議案第126号の3議案が付託された。付託同日、本委員会を開き、総務・文教環境・生活福祉・産業建設の4つの分科会を設置し、付託議案を各分科会に分担送付して審査することと決定した。各分科会審査後17日に本委員会を開き、各分科会委員長から審査報告を受けた。採決の結果、3件の議案は原案のとおり可決すべきものと決定した。

各分科会の審査概要の一部は以下のとおりです。

議案第67号「平成25年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)」について

文教環境分科会

(問) 給食調理室運営費の需用費に関して、非常用代替食として「カレー」を選定した理由

(答) 選定基準として調理せずに出せるものを念頭に探した。その中で缶詰があったが、アレルギーフリーのものが非常に少ないため、できるだけアレルギー特定原材料が使用されていないものを探す中で、カレーとなった。

生活福祉分科会

(問) 保育所費 維持修繕費 500万円について、9か所の保育所の修繕の内訳及び今後の修繕の全体像

(答) 今年度、遊具の点検を実施した結果、白子・神戸・玉垣・合川・算所・深伊沢・西条・一ノ宮の8か所の鉄棒について、塗装の剥がれや腐食による早急な修繕又は更新の必要性や、玉垣のすべり台、牧田の複合遊具及び6か所のブランコ等の補修の必要性が判明した。現在、使用禁止としている状況もあり、早期の補修を行いたいと考える。また、施設の修繕としては、廊下の雨漏り、浄化槽のブロワー取替え、10か所のエアコンの清掃を計上したものである。平成26年度には牧田保育所の剥がれた屋根の修理など、大掛かりな修繕を計画している。

産業建設分科会

(問) 中勢バイパス関連推進費150万円の内訳について、100万円が市民会館で行う「地震防災シンポジウム」の関連部分ということだが、当該シンポジウム全体の予算枠はいくらか、内容についてはどのようなものか、また、道路の重要性についてどのように説明するのか。

(答) 来年2月に市民会館にて開催予定の「地震防災シンポジウム」の全体の予算については、国土交通省が主催するため把握していない。東日本大震災時の災害復旧において、いかに道路が重要な役割を果たしたかを、パネルディスカッション等をおし県民市民に知ってもらうことを目的としている。

議案第126号「平成25年度鈴鹿市一般会計補正予算(第4号)」について

文教環境分科会

(問) 工期の遅れの原因について

(答) 建設工事の前の工程にあたる造成工事において予期できない外周土留め壁基礎部の軟弱地盤対策に時間を要し、実質的に建築工事に着工できたのが3月当初、正月明けの1月から入る予定であったので、1.5ヶ月遅れてスタートした。建築業者はそこから努力をし、0.5ヶ月分は圧縮できたが、あと1月が東日本大震災の復旧等もあり業者の努力ではカバーできる限度を超え、11月の下旬に1ヶ月は仕方ないと判断をし、業者側に過失があるとは考えていない。